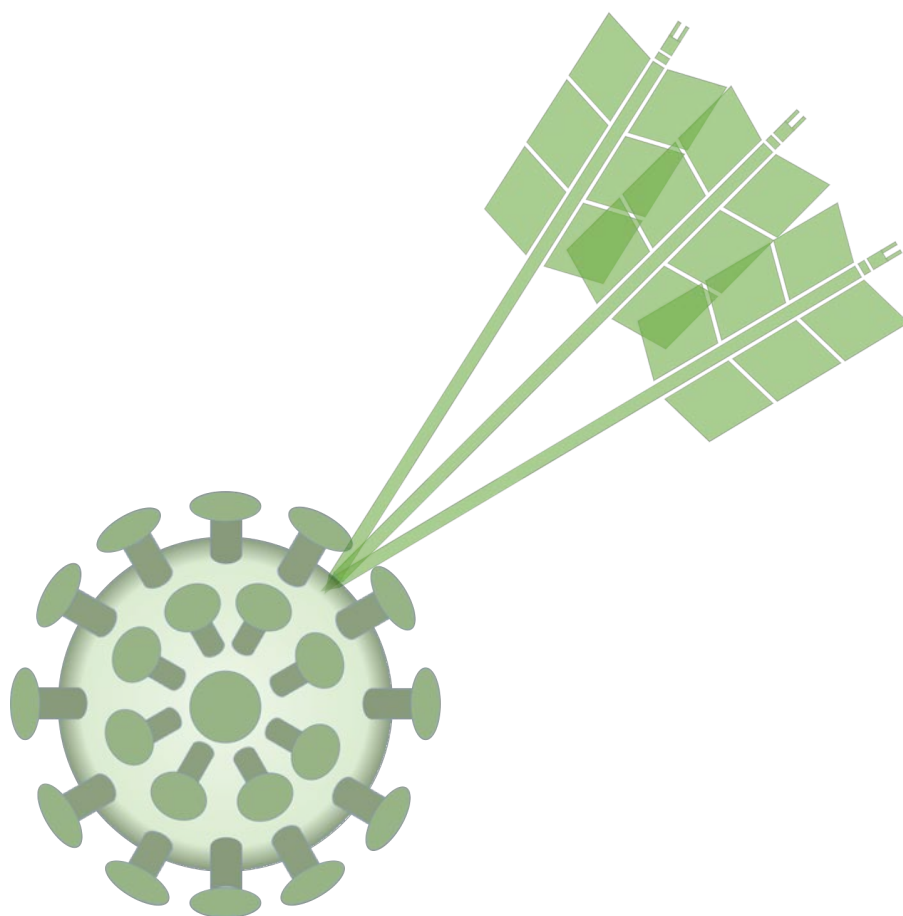


# 第13回 三大学交流セミナー

東京医科大学茨城医療センター、茨城県立医療大学、茨城大学農学部

## プログラム・抄録集



---

日時 令和3年9月9日(木) 17時～18時30分

会場 WEB開催

---

主催： 東京医科大学茨城医療センター

共催： 茨城県立医療大学、茨城大学農学部

## 第13回 三大学交流セミナープログラム

17:00～17:05 開会の辞  
小林 正貴（東京医科大学茨城医療センター病院長）

シンポジウム 17:05～18:30

### テーマ「新型コロナウイルス」

座長 東京医科大学茨城医療センター呼吸器内科 教授  
青柴和徹

講演（各発表20分、質疑5分）

1. 「院内発生 対応に苦慮する私達現場と得られた教訓」  
東京医科大学病院・感染症科 教授 渡邊 秀裕 先生
2. 「茨城県立医療大学におけるコロナ禍での疫学的対応について」  
茨城県立医療大学・医科学センター 教授 桜井 直美 先生
3. 「コロナ禍で見たフードシステムの世界的潮流」  
茨城大学農学部・地域総合農学科 助教 池田 真也 先生

18:20～18:25 次回幹事校からの挨拶  
松村 明（茨城県立医療大学長）

18:25～18:30 閉会の辞  
戸嶋 浩明（茨城大学農学部長）

ポスター展示・情報交換会はありません

## 「院内発生 対応に苦慮する私達現場と得られた教訓」



東京医科大学  
感染症科 教授  
感染制御部 部長  
渡邊 秀裕

### 略歴:

1986年	杏林大学医学部卒業 第1内科(呼吸器・感染症内科)入局
1995年	日本国際協力機構(JICA)出向 マレーシア ボルネオ島
2000年	杏林大学医学部第1内科 講師、医局長
2001年	Public Health Research Institute NY USA
2009年	東海大学医学部 内科系呼吸器内科 准教授
2016年	東京医科大学 感染症科 准教授・科長 感染制御部 部長
2017年	同 教授

東京薬科大学客員教授, 日本マイコプラズマ学会理事, 日本感染症学会 評議員 専門医・指導医, 日本内科学会 専門医・指導医, 日本呼吸器学会 専門医・指導医, その他

新型コロナウイルス(CoV)に関する最初の情報発信は2020年1月1日に South China Morning Post が Wuhan(武漢)において Mystery Viral Pneumonia Outbreak の報道とされる。しかし2019年の12月のずっと以前から Wuhan ではウイルス性肺炎の散发例が報告されていたことから Wuhan での発生が発端ではなく集団発生の一つを見ていたにすぎないと考えられている。本邦では2020年1月に初の患者を確認して以来1年半以上が経過した。この間4度にわたり緊急事態宣言が出されたものの、2021年8月末、第5波のピークにある。すべて変異株 L452R( $\delta$ 株)に置き換わり、発症者は若年にシフトし、重症者は最高数となってしまった、ワクチン接種も人口比で2回目終了が40%程度であり、いまだ収束に至っていない。

本講演は、現在までの情報や対応に苦悩した院内発生例を基に感染対策や予防策を整理して考えてみたい。皆様のご批判をいただければ幸いである。

## 「茨城県立医療大学におけるコロナ禍での疫学的対応について」



茨城県立医療大学  
医科学センター 教授  
桜井 直美

### 略歴

- 1990年 千葉大学教育学部卒業
- 1992年 筑波大学大学院修士課程医科学研究科修了
- 1992年 富士レビオ株式会社中央研究所勤務
- 1995年 茨城県立医療大学 医科学センター 助手
- 1998年 筑波大学大学院博士課程医学研究科生物系専攻修了
- 2005年 インфекションコントロールドクター  
(Infection control doctor, ICD)取得
- 2008年 茨城県立医療大学 医科学センター 准教授
- 2017年 茨城県立医療大学 医科学センター 教授

新型コロナウイルス感染拡大を受け、大学として学生の健康状況を把握するための健康観察を実施した。緊急時の安否確認用として導入したパスモバイル(NTT テレコム株式会社)により、毎日学生及び教職員の体温、症状等を集計し、学内で共有した。また、4月に感染者が確認された際には、学内で独自に積極的疫学調査を実施し、感染者の行動から濃厚接触者を割り出して本学付属病院での迅速なPCR検査につなげ、学内の授業や演習、実技実習での感染拡大を防いだ。医療系大学では、学内で人と人が直接接触する実習や演習が多く、また、臨床実習で多くの医療機関に学生を送り出していることから、学生が安心・安全に教育を受けるだけでなく、医療機関への説明としても上記の疫学調査が有効であった。

本講演では、本学で継続して実施中の疫学的対応について概説する。

## 「コロナ禍で見たフードシステムの世界的潮流」



茨城大学  
農学部地域総合農学科 助教  
池田 真也

### 略歴

2008年 東京大学農学部 卒業  
2015年 東北大学大学院農学研究科博士後期課程 修了  
2016年 九州大学大学院工学研究院 特任助教  
2017年 九州大学大学院工学研究院 特任講師  
2018年 茨城大学農学部 助教

新型コロナウイルスの世界的な蔓延はフードシステム(生産者から消費者に至る主体の様々な活動を内包するシステム)に大きな影響を与えた。特に途上国への影響は大きく、栄養不足に陥る人々が増加傾向にあることが複数の国連機関から報告されている。そのため、農業・食料関係の持続可能な開発目標群(SDGs)にある「食料安全保障と栄養改善の達成」が危惧される状況にある。本講演では主に途上国を対象に、コロナ禍によるフードシステムの変化を概観したい。

### 【関連文献】

FAO, IFAD, UNICEF, WFP and WHO. 2021. *Transforming food systems for food security, improved nutrition and affordable healthy diets for all*. Rome, FAO.  
Hobbs, Jill. E. 2020. Food supply chains during the COVID-19 pandemic. *Canadian Journal of Agricultural Economics*, 68(2), 171-176.

【セミナー参加者の皆様へ】

- 本会は、新型コロナ蔓延のため、すべてWEBでの発表になります。
- WEB発表は、ZOOMミーティングにて行います。
- Zoomのアプリケーション (<https://zoom.us>) を各自インストールしてください。
- インストール済の方も、ご自身のzoomが最新版にアップデートされているかどうかをご確認ください。
- 発表中は、カメラとマイクの機能をお切り下さい。
- 発表後の質疑（5分）の際に質問がある方は、挙手機能（リアクションの「手を挙げる」）でお知らせ下さい。座長が指名いたします。指名されましたら、カメラとマイクの機能をオンの上、ご質問をお願いいたします。

Zoomミーティングのアドレス:

<https://zoom.us/j/95089592440?pwd=SmhQU1TCszenBLc0RaZTNYbEp6dz09>



ID, パスワードは以下のとおりです。

ミーティング ID: 950 8959 2440

パスコード: 804041

開催当日 16 : 50 頃から入室可能予定です。